

同窓会報

No. 67

編集発行

三重県立
四日市高等学校
同窓会四日市市茂福65
TEL (059) 365-3631

印刷

徳島海フォトデザインシステム

母校創立百十周年
記念行事を振り返って
同窓会長 熊澤 誠一郎

(四高二十九年度卒)

平成21年は母校創立110周年を記念しての行事が盛り沢山の一年でした。

明治32年本校の前身三重県第二中学校が誕生して110年、12月5日記念式典が多くのご来賓の出席の下、体育館において盛大に挙行されました。先輩OBからは岡田卓也氏のご出席をいただき、関係者一同大変喜びました。当日は非常に寒い日でしたが、在校生、PTA、同窓会、教職員関係者約1300人一同に会し、厳粛な中にも気持ちの和む記念式典でした。110年の歴史の中で培われた素晴らしい伝統の重み、誇りを感じながら、底冷えのする寒い日でしたが熱いものがこみ上げてきました。

式典は、まず校歌斉唱から始まりました。本校の校歌の作詞は、佐々木信綱博士です。校歌を歌いながら、学生時代にご縁あつて度々熱海の凌寒荘(佐々木信綱の私邸)を訪ねて、博士が昭和25年に四高を訪れて校庭で生徒を自分の周りに円形に集めて話したことなどを聞かされたことを懐かしく思い出しました。そのときの演題が「永久に生きる」ということだったことも思い出し、わが母校も未来に向かって永久に歩み続けて在校生、同窓生共に力を合わせて母校の充実、発展を期していきたいと心に刻みました。

式典に引き続き、記念講演会が行われ、東工大教授細野秀雄先生による「研究の駆動力、憧れ、野心、希望」の演題での講演をお聞きしました。我々には難しい講演内容でしたが、格調高いお話で在校生も静粛に聞き入っていました。

6月6日には母校創立110周年記念同窓会を開催しました。続いて川北真嗣氏(四高59年度卒、元飛驒トンネル工事社長)による「日本の道路トンネルと飛驒トンネルの工事」と題した記念講演が行われました。総会終了後、四日市商工会議所ホールにて祝賀パーティーを開催し、久しぶりに多数の同窓生が集まり旧交を温めました。

10月7日には、学校主催にて四日市文化会館において四高出身演奏家の皆さんと共に「ガラコンサート」が実施されました。

また、11月12日には好天の下、母校創立110周年記念「第1回銀城親睦ゴルフ大会」と銘打って、160人のゴルフ愛好家を集め、和やかなゴルフコンペを行ないました。「銀城ゴルフ会」というのは、威風堂々とした風格のある旧制富中の校舎を「銀城」と呼んだそうであり、旧制富中卒業のゴルフ愛好家により40数年ほど前に創設され、丹羽文雄氏、田中寛元三重県知事も楽しそうに参加された会であったようです。昭和40年8月16日の第1回から平成21年5月28日の第79回まで脈々と続いたゴルフ会である「銀城会」の名をいただき、この度の第1回記念大会の冠としました。今回を第1回として「銀城会」の名の下に、できれば毎年1回開催していきたいと思っております。今後の子育てをよろしくお願いたします。

その他記念行事として、百年史の後の10年を中心とした内容の「四高110年の歩み」輝く青春、広がる未来」を発刊しました。生徒諸君全員に配布し、コンパクトな写真を中心にした歴史書として好評を博しております。

また、体育館暖帳を記念事業の一環として岡田文化財団(岡田卓也理事長)より、既に一昨年修理寄贈していただきました。他に、同窓会としてトレーニング機器整備をいたしました。

これら記念行事を通して、110年に亘る先輩諸兄の努力、熱意を感じ、歴史の重みとその間に培われてきた伝統と品格をひしひしと感じました。この歴史と伝統に奮起することなく、初代田村校長の建学の精神「質実剛健」「文武両道」のもとに個性ある人間づくり、知性ある学校づくりに、謙虚で地道な努力を重ねていくことが何よりも大切なことだと心に銘記したところであります。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後も一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

記念講演として東京工業大学の細野秀雄教授に「研究の駆動力、憧れ、野心、希望」と題してお話をいただきました。細野秀雄教授は東京工業大学セラミックス研究所教授で、新しい材料を創り出すことを専門とされています。世界が注目しているセメントの高い電気伝導の金属状態に変えた研究、次世代のディスプレイや薄型TVを駆動する透明で曲がる高性能なトランジスタ材料を創り出した研究等、研究実績は数知れません。

新しい材料を創り出していく研究のおもしろさに生徒達は聞き入っていました。

教員生活36年の最後をこの四日市高校でこのような式典を挙げる千載一遇の機会を与えられたことは万感胸に迫る思いがあります。深く感謝しています。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

万感胸に迫る百十周年記念式典
学校長 大橋 眞

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、また、それぞれの時代に思いを馳せていただき、四日市高校創立110年の先輩達の偉業をひとつひとつ丹念に掘り起こし、記録するという貴重な機会でした。

また記念式典には百名近い来賓の御出席をいただきました。四日市市長様をはじめ、県会議員の皆様、各市町の教育長の皆様、県立学校長、中学校長様など、本校を支えていただいている多数の方から四日市高校創立110周年にお祝いの言葉をいただきました。

同窓会会員の皆様が残された良き伝統を堅持し、創立110年の伝統を言ひ継ぎ、四日市高校にご縁をいただいた教員として、今後とも一層の努力と精進を重ねて参ります。

なにとぞ 同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも本校にご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本校の教育の充実発展のため、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る12月5日に四日市高等学校創立110周年の記念式典を無事に終えることができました。記念式典に先立ち、同窓会との共催で10月7日にセントラル愛知交響楽団と四高出身の音楽家による「ガラコンサート」を実施しました。同窓会独自に「ゴルフ・コンペ」や「六月総会後記念懇親会」がもたれました。

記念誌を作成し、4万7千名を超える卒業生・同窓会会員と共に4万日を超える日々の営みを振り返り、



富中、四女、北女卒業生



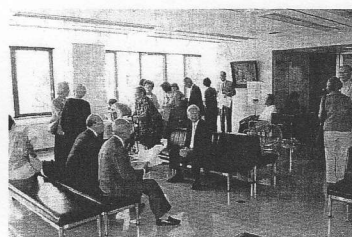
四高 昭和25年度～34年度卒業生



四高 昭和35年度以降卒業生



会場風景



受付風景

財団法人四高会 平成20年度収支決算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

【収入の部】

勘定科目	細目	摘要	決算額	予算額
寄付金収入		同窓会より	1,300,000	1,300,000
雑収入		受取利息	2,542	4,308
		会館使用料	118,500	125,000
前期繰越金			540,692	540,692
合 計			1,961,734	1,970,000

【支出の部】

勘定科目	細目	摘要	決算額	予算額
管理費			634,498	1,520,000
	事務費		69,825	400,000
	会館修理費		73,500	500,000
	清掃費	環境整備等	86,088	100,000
	保険費	火災保険料	18,570	20,000
	光熱給水費	電気、水道、ガス代	386,515	500,000
事業費		会議、講演	150,000	250,000
法人住民税		県税・市税	70,000	160,000
予備費			0	40,000
合 計			854,498	1,970,000

20年度収入	1,961,734
20年度支出	854,498
差引残高	1,107,236 (次期繰越金) 百五銀行富田駅前支店普通預金 1,107,236円

平成21年度総会は、6月6日土曜日の午後2時から、四日市市総合会館で開催されました。150人の参加を得て、定刻通り14時に始まりました。

最初に熊澤会長よりご挨拶をいただきました。本年は創立110周年にあたり、質素ながら実質的な記念行事を行いましたとお話しがありました。また、大橋校長より、同窓会の学校への協力に対する感謝、20年度の卒業生の進学実績の報告、四高に向けた大きな期待に、応えるべく、全国屈指の進学校をめざして学校経営に邁進する旨のご挨拶がありました。

議 事

- 総会で審議された議案は次の通りです。
- 第1号議案 平成20年度事業報告
 - 第2号議案 平成20年度収支決算・監査報告
 - 第3号議案 平成21年度事業計画案
 - 第4号議案 平成21年度予算案
 - 第5号議案 平成21年度役員・常任理事改選について

以上すべての議案について慎重な審議の結果、全会一致で承認されました。また、議事修了

講演要旨

後、西協副会長から110周年記念事業の概要について説明がありました。

その後、記念講演と抽選会が行われ、さらに場所を移して、商工会議所1階のホールにて和やかな雰囲気の中、創立110周年記念ティーパーティーが行われ、また、初穂山直下のルートであるため最大土

等の主断層、および派生断層が数条にわたって横断あるいは近接しており、これら断層活動による破砕、熱水変質、粘土化が著しく、非常に複雑な地質構造になっています。また、初穂山直下のルートであるため最大土

破りが約1,000mもありま

す。これらが施工法、工程に与える影響は予想以上に大きく、かつてない高い土圧と大量・高圧の沸水に悩まされ、度々掘削方法を変更しながら、このたぐいまれな死闘といつてよい難工事を成し遂げられました。貫通

までに実に9年半を要するまでに日本の土木史上に残る大土木工事だったのです。さらにそれを死亡事故ゼロで実現されたということは、特筆すべきことでしょう。

平成21年度

四日市高校同窓会総会報告

記念講演

川北 眞嗣氏

(四高五十六年度卒)

演題 「日本道路トンネルと飛騨トンネルの工事」

平成21年6月6日
四日市市総合会館
8階 視聴覚室

四日市高校同窓会 平成20年度収支決算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

【収入の部】

項 目	細 目	摘 要	決 算 額	予 算 額
同窓会収入			7,785,080	7,298,000
	入 会 金	全日制1,800×1070人 通信制1,200×68人	1,922,400	1,944,000
			105,600	54,000
	同 窓 会 費	終身(20000) 270 5400000 10年(10000) 2 20000 5年(5000) 4 20000 3年(3000) 4 12000 2年(2000) 2 4000 1年(1000) 351 351000 同窓会費計 5807000 振込料 49920	5,757,080	5,300,000
雑 収 入		利子、その他	4,902	3,059
繰 越 金			1,608,941	1,608,941
合 計			9,398,923	8,910,000

【支出の部】

項 目	細 目	摘 要	決 算 額	予 算 額
運 営 費			1,172,162	1,550,000
	給 与	給料	1,030,000	1,100,000
	事 務	印刷、事務用品等	37,796	350,000
	通 信	電話、郵便料	104,366	100,000
会 議 費			214,544	370,000
	総 会	会場費、懇親会費、案内状	136,110	250,000
	理 事 会	会場費、会議費、案内状	74,286	100,000
	常任理事会	会議費	4,148	20,000
事 業 費		会報印刷及び発送費	702,437	950,000
四高会拠出金			1,300,000	1,300,000
積 立 金		財四高会寄付金	4,700,000	4,700,000
予 備 費			8,452	40,000
合 計			8,097,595	8,910,000

単位：円

平成20年度収入	9,398,923
平成20年度支出	8,097,595
次年度繰越金	1,301,328

百五銀行富田駅前支店普通預金

特別会計積立金(百五銀行富田駅前支店定期預金)

前年度末	17,253,228
今年度積立金	4,700,000
利 子	48,329
今年度末	22,001,557

リレー随想〈第13回〉

あらためて四日市高校卒業生で
よかったと思う

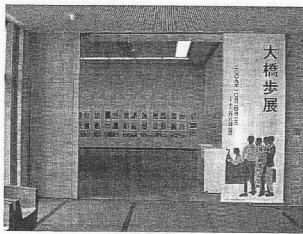
四日市高校を卒業してすぐに東京に出て、そのまま東京で暮らしてきたので、私には四日市ははるか彼方の地となってしまっています。それでも従姉妹達の住んでいる津に用があると、近鉄の特急電車の通過駅の富田の手前から、そわそわして窓にしがみつのように、あの運動場を確認してほっとして、住んでいた四日市駅に停車すると、身を乗り出すように、見覚えのあるものはないか、うかがっていました。

秋に、三重県立美術館で、回顧展のような大きな展示会をしていただきました。展示の打ち合わせやいろいろと用があって、津にはずいぶん通いました。展示会用の雑誌を作るので、四日市に住んでいる作家を訪ねましたから、四日市に1泊いたしました。50年の歳月を改めて思いました。浦島太郎は亀に乗って出た砂浜に戻ってきますが、発展を遂げた四日市には昔のおもかげを見つけることはできませんでした。

展示会の会期中に、四日市高校の同窓生の方々が、わざわざ見においでくださいました。みなさん50年の歳月が豊かであられたことが伺われる。とてもすてきな方々で、四日市高校時代以後のご無沙汰の時間がいっぺんに吹き飛んでしまいました。なつかしいというよりとてもうれしいことでした。会場にはほんとにたまにしか行けませんでしたから、

お会いしてお礼申し上げられなかった同窓生の方も、たくさんいらしてくださったと聞いています。

四日市高校時代はみなさん気持ちの中ではつい昨日のここのよう。浦島太郎は見知った人がいなかったの、玉手箱を開けて実際の年月を知ることになるのですが、私の玉手箱は50年経っているというのに、同窓生に温かくやさしくしてもらえたことでした。ようやく私の中でも、少しずつ四日市高校のあの頃が柔らかな思い出としてもどってきています。



(三重県立美術館での原画展示)

出会いはおおいに人生を決定するので

すね。四日市高校に入学しなかったら、四日市高校で知り合えなかったら、50年後のこのう

れしいことはなかったわけです。

四日市から出て50年間のことを、少しお話しします。

1年浪人して、私立の美術大学の油画科に入學します。イラストレーターになりたく、学校外のゼミを受けます。作品を持ち込んだ当時都会の若者に大

人気だった、ヴァンジャケットで、石津祥介氏に雑

イオグラフィック代表

大橋 歩

(本名：久美子)

(四高33年度卒)



誌の仕事を受ける。それがきっかけで、男性週刊誌の表紙の専属イラストレーターに起用して頂く。7年半後フリーランサーとなり、銀行や証券会社やホンダや資生堂やサントリーやファッションメーカーなどの広告や、雑誌や書籍の仕事をお願いする。60年代からの仕事は、日本の高度成長の時期から、ファッションが産業化したバブルの時代、やがてバブル崩壊と、日本の経済の流れの中で、私なりに受け身の立場でさせてもらってきました。楽しい仕事もたくさんさせていただきました。

02年に手づくりの雑誌『アルネ』を発行しました。それを09年12月発売の30号で終了としました。

三重県立美術館での回顧展は12月6日で終わりましたから、仕事の区切りが09年12月となりました。私には今までにない大きな節目となりました。この時期に四日市高校の同窓の方々にお会いできたことは、とてもすばらしいことでした。改めておめでとうございます。心から感謝します。

2010年は私には最も自由な新しい年として始まると思っています。きのうの続きではない新しい時代です。誕生日がくると70才になりますから。やれることしかやれないんだから、自分が楽しくなれるようにやろうと、と思っています。

皆々様のご健勝を心から祈って。

平成21年度会費納入者

(敬称略)

○終身会費(2万円)

山下卓巳、毛利藤子、中村和代、伊

戸詩織、伊藤彩香、伊藤慎治、伊藤

敬大、伊藤隆、伊藤優美、上田真也、

奥井祐輝、奥富萌野、梶原和樹、片

山翔太、加藤尚彦、神谷依里、川添

康平、木村祐子、小山春菜、坂口由

起、柴田麻由、高村直樹、竹内優歩、

田所広佑、谷知美、田村悠貴、寺村

美由紀、永井彩夏、中園健太、永田

あゆみ、中村和樹、西口祐里奈、藤

井真由子、藤井美帆、藤沢慎吾、藤

田ゆめ、松岡優斗、水越亮、三谷駿、

山下沙紀、吉塚彩織、穴田拓也、天

春貴博、一海雅賀、伊藤季世、伊藤

麻里絵、稲垣映美、稲垣航平、乾紗

矢香、今井駿介、今村裕美、大橋藍

矢志保、加藤菜都美、川島佑太、北

川真由、小辻文明、後藤憲哉、小森

友梨子、柴田泰裕、田部佑美、千種

杏奈、中川伸之、生川由果、服部弘

樹、服部真里、林もと子、藤川美月、

藤田理子、前田菜、水谷亮太、三井

藤梨子、三橋範久、宮田明奈、村田

知香、山際きみ佳、湯浅史朗、吉原

弥生、北山敦史、加藤由美子、奥山

浩介、鎗田文、岡田明子、井村正史、

太田明子、秋田雄大、荒木勇斗、伊

藤里華、今村憲子、岩本英典、江崎

由季、大谷勇斗、角野慎哉、加藤大

智、加藤千尋、黒木智也、近藤麗

坂崎翔一、佐々木真実、佐藤麻衣、

佐藤亮太、澤田有希、嶋崎麻帆、島

田由紀、清水崇晶、天白沙美、東郷

さつき、長谷川永治、濱田智弘、福

井優、藤本由奈、堀越小百合、水越

裕子、安田理香、山田奈美希、山森

裕也、横田みゆき、渡邊真子、荒木

響子、安藤冬馬、石川宗機、伊藤あ

い、伊藤直之、江口梓、大園彩華、

小川魁太、小川将平、小川茉莉亜、

加藤亜紀、河村友裕、榊美咲、笹川

秀平、佐々木秀、山東浩明、鈴木雄

大、高野翔太、竹内薫、竹森文香、

柳川祐毅、渡部智奈美、渡辺みなみ、

鈴木麻里、鈴木沙織、堀雅史、隈元

辰之佑、津田均、安藤大輝、伊藤一

也、伊藤翔吾、今村基貴、大西賢紀、

小栗徹也、葛山遼、北川大暉、河野

修也、児玉洋輔、坂将、坂倉康友、

晒谷信之、澤村良祐、篠田智大、

志村明人、杉本康行、多田海成、田

中敦士、種村貴士、寺本一平、東條

巧、新美昂平、西良介、早川明良、

早川祥平、林佑樹、藤田貴大、松岡

純司、丸山駿太郎、森佑亮、山北智

徳、山添俊介、山田周平、山根駿哉、

山本尚幸、秋山由衣、浅野恵史、伊

藤重紀、伊藤和貴、伊藤麻衣、伊藤

悠紀子、今村好佑、上原基史、宇野

祥規、岡田彩加、葛山裕太、加藤遼、

小久江俊哉、小林俊博、近藤耕平、

白崎瑠菜、神野沢弥、高木美奈、高

橋由佳子、中嶋伸吾、濱田幸、林晴

菜、韓安那、松永優美、森宏樹、矢

田優理、山本大介、吉川世里奈、渡

辺太一、安藤貴志、飯塚智也、一本

朝絵、伊藤晃寛、伊藤聖也、伊藤正

也、伊藤美奈子、岩田裕貴、梅田暁

恵、大杉将人、岡頼良、岡村有希子、

角見篤紀、木全拓也、久保尻由貴、

後藤佳紀、佐々木延也、佐藤永太郎、

佐藤剛志、谷谷さや、塚本みのり、寺

村麻由、戸谷徳宏、中村勇斗、蓮沼

誠紀、林歩美、平川奈美、平野太暉、

古見堂奈々子、水谷彼方、水谷有希、

森川耀介、山本裕介、荒川大輝、伊

藤さゆみ、伊藤詩織、稲垣柚紀、犬

飼勇斗、今井隆太郎、岩谷彩未、岩

永麻由子、鶴崎諒介、内田成美、江

間陽平、大泉祐哉、大野愛華、大橋

のりみ、大森昭宏、川崎俊也、北岡

千明、日下知香、後藤大智、駒田翔

平、近藤和歌子、坂倉千裕、末松志

保、竹内彩帆、田中光、辻奈都子、

友光勇樹、豊田涼介、水谷史至、福

本愛理、古川紗由美、名村寛、水谷

将士、安井基博、山崎貴博、山田あ

やか、石岡稜司、石川裕季子、伊藤

将吾、今村凌大、岩田陽佑、岡崎香、

倉内大介、後藤亜希、小林吾一、桜

吉田望、吉田恵

(平成21年9月現在)

○十年会費(1万円) 二名

○三年会費(3千円) 三名

○一年会費(千円) 一七一名

会員の皆様、誠にありがとうございます。

同窓会の事業はすべて会費により運営されています。会報の送付なども、財政上の理由から会費を納めた方だけに限らせていただいております。納入がまだお済みでない場合には、是非お早めにお願ひ申し上げます。

会費納入のお願い

○納入金額

終身会費 2万円

毎年納入の場合

年会費 千円

○納入方法

①郵便振替 口座番号

〇〇八二〇一八六三六七

三重県立四日市高校同窓会

※専用の振込用紙がありますので

ご連絡下さい。振込は送付いたします。

②現金書留

会館迄ご送金下さい

③お問い合わせ

四日市高校同窓会館まで

〒五一〇一八〇二七

四日市市茂福六五

本紙会費長いさつの中で、述べられている「110年の歩み」冊子は同窓会館に手持ちがあります。ご希望の方は左記の要領でお申込み下さい。

「四日市高校110年の歩み」
輝く青春、広がる未来」
A4変型判100P
1冊千円(送料込)

現金又は千円分郵便切手を郵送して下さい。振込は不可。

創立110周年



〈記念講演〉

記念総会

H21.6.6

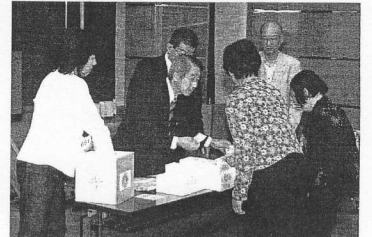
於：四日市市総合会館



〈総合会場〉



〈受付風景〉



〈抽せん会〉



平成21年度 四日市高等学校同窓会
母校創立110周年記念総会

日時：平成21年6月6日(土)午後2時より
場所：四日市市総合会館8F(四日市市役所内)

◎記念講演(講師) 川北 眞嗣氏(元四日市市長)
(司会) 「日本の道徳トンネルと
飛騨トンネルの工事」
終了後、記念パーティー(無料)、四日市商工会議所ホールにて
三重県立四日市高等学校同窓会・(財)四商会

記念祝賀パーティー スナップ集

H21.6.6

於：四日市商工会議所ホール





記念ゴルフコンペ

H21.11.12
於：四日市カントリー



優勝者 高尾 寛 さん (44年度卒・中央)
須藤 美智子 さん (25年度卒・右)



〈熊澤会長あいさつ〉



〈田中四日市市長あいさつ〉



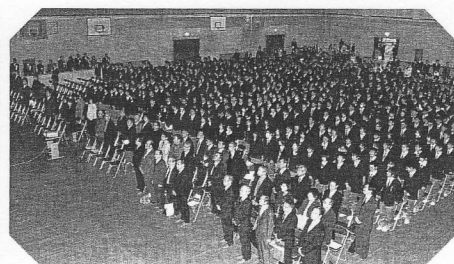
〈同窓会役員席〉

祝・母校

記念式典 H21.12.4
於：四日市高校体育館



〈大橋校長あいさつ〉



〈式場風景〉

青春時代の真ん中で

松永 隆

私は7回目の寅年を迎えます。富中3年生時代の楽しきもあり、悲しみ、苦しい思い出の中で横道へ逸れる私を立ち直らせ、生きる指針となった出来事を記したいと思います。

学校の帰路、毎日の様に集まって無駄話に耽って居た頃、父の叱咤を考え乍ら帰宅し、2階の部屋に入ると机の上に置かれた物を見た時、それは綺麗な蓮の花の紙型と念珠と、筆書きの「水にうつる曇った月も雲が行き去れば再び輝きをとり戻す」と云った様な一枚の和紙であった。

夜の食卓は姉一人を交えて3人で、父親は平常通りで一言の言葉もなかった。その日は学校へ呼ばれて注意されて居た事も知っていた。8才で母親を亡くして私を男手一つで育成して、村の役仕事も多忙で再婚話も幼い私の為に耳を借さなかった父親。この時私の胸に刻まれた決意、それは将来必ずこの父のために尽くすの一心であった。そして叔父の後をついで船乗りになる思いが強く芽生えた。

終戦迄は私共に色々な事多難がふりかかった。思えば私の青春は、今の若人にはとても考えられない戦時中の尊い経験であったと思う。どんな時でも相談相手は父だった。外地に在っても父よりの手紙は続けられ、最後の読み辛い様な字になった葉書は私の宝物である。

米寿を迎えて天上に還ってゆき、生涯親鸞を心の支えとした父親を、私はこの世で一番尊敬している。



辛かったことも

川合 一郎

創立40周年の昭和14年に入学し70年が過ぎました。在学中の5年間の思い出も遠い昔となり、ほとんど忘れてしまったが、脳の片隅に残る事を引出してみます。

○入学して間もなく多度神社への夜間行軍は辛かった。家に帰って朝食もせずにすぐ寝てしまっ



思い出を語る 富中41回卒業生の4氏

た。

○「ヤカン」のかわりに湯桶(ゆと)があり珍らしく思った。

○ゲートルを巻いて登下校し、途中で上級生に会うと敬礼した。

○毎週の行事である全校マラソンは苦手だった。

○健民修練に参加した40人位が忠節・信義・武勇・礼儀・質素の五班に別れ寄宿舎生活をし、夜は柔道場で大きな蚊帳の中で一同が寝たが、昼間は何をしていたか記憶にない。

○北勢・南勢に別れた聯合演習では、早朝にズブ濡れになり伊勢の宮川を渡った

○18年12月5日一夜にして校舎が焼失し、九鬼館ですし詰めの授業であった。後日多くの者達が警察に呼び出された。私もその中の一人であった

マラソンの力

鹿島 良哉

70年もたつて、83才にもなると、昔のことはもう殆ど忘れかけています。

特に楽しかったであろう思い出は、すっかり抜け落ち、面白くなかったことばかり僅かに残っています。

時勢の流れだったでしょうが、軍国的超右翼的な教育が重要され、いま考えても腹が立つようなことばかりでした。

そのうちで唯一一つ、毎週のように走らされたマラソンは、後年、私の登山人生の基礎体力作りに大いに役立ったことは確かで、この点だけは有り難かったと思っています。

おだやかな音頭

山下 一夫

82才の今日に至るまで、さしたる事もなく、まずまず平穩無事に過して来ました。あまり記事なる様な物件はありません。

現役時代、公共土木関係に携わっており、その関係で次のような歌をうたったものです。

土木の土の字はヤッコラヤ
分析すればノオ(フオ)ちござ
十一・〇となる 十一・〇
となる
ヤッコラヤ、ヤッコラヤ

人物往来

3年間の思い出

柳 百合子

(四高平成十四年度卒)



四高の在学中、周りの優秀な友人について行けず、子どもの頃から大好きだった絵画を学ぼうと美術大学を志しました。なんとか美大のデザイン科に入学したものの、情けないことながらまともに周りの才能について行けず、美学・美術史に転向しました。アーティストになれないのなら、彼らを追うからサポートする役目をしたという考えから新聞社に入社し、幸いにも美術展の企画・運営を行う部署に配属され、現在に至ります。ダリ、モネ、北斎など有名な画家の作品に直に触れ、音楽、舞踊、その他世界でも一流の芸術に囲まれて過ごせる今の職場は、まさに夢のような空間です。

四日市高校での3年間は、私にとって大切な時間でした。特に吹奏楽部での1年間は印象的です。それまで、辛いこと、困難なこと、自分の思うようにいかないことから逃げがちだった私ですが、初めての上下関係、連日の練習は、社会に出た今、なくてはならない経験だったと身にしみて感じています。夏の練習では、狭いプレハブ小屋に大勢の部員がぎゅうぎゅう詰めになり、服が絞れるほどの汗をかいたことを思い出します。もちろん、辛いことだけではありません。春、満開の十四川の桜を眺めながら練習したこと、コ

半端者は自由である

伊藤 毅

(四高五十二年度卒)



「一芸に徹する」あるいは「その道を極める」ことが多くの人間にとって目標とするところであり、創立110年を迎えるわが校の諸先輩方の多くもその域に達して各方面で活躍されてきたわけですが、卒業後32年を経た自身の人生を振り返るとき、それら先輩方に比べ自分のそれがいかに中途半端なものであるかという点については嘆息せざるを得ず、またそう感じるのはおそらく私だけではないと思います。研修医からスタートし、研究者、専門医、開業医、介護施設の経営者、それら一つ一つに深く区切りをつけるでもなく中途半端に以前の仕事をひ

ンクルが終わった後のすがすがしい気持ちや、定期演奏会で部員みんなの気持ちが一つになったと感じた瞬間など、7年経った今でも鮮明に思い起こすことができます。私は美大受験に専念するため最初の1年間しか在籍することができませんでしたが、今でも電車で富田駅を通るとき思い出すのは、部活に励んだ日々です。

また、社会人になって感じるのは、先輩方とのつながりです。名古屋の企業で働いていると、仕事の関係で出会う方で四高出身という方が驚くほど多く、その話題で話が盛り上がり、関係が親密になるのはよくあることです。これからも、かつて四高生であった誇りを忘れず、社会の一員として過ごしていきたいと思います。

に徹するだけでなく、仕事に対してどこかでニュートラルな部分を持つことも人として必要なのではないでしょうか。これからわが後輩たる意気軒昂な四高の卒業生たちは、下界のことなど気にも留めずにそれぞれの高峰を目指していくのでしょうが、若さにまかせて必死で登った後、決して負け惜しみではないかたちで、それだけがすべてではないことを悟ってくれる日が、多くの後輩たちにも訪れるといいと思っています。

学校群一期生の意地

笠井 美香

(四高五十二年度卒)



思えば遠い昔の話になりますが、激化する受験戦争の緩和目的とやらで、北勢地区に於いて四日市高校と四日市南高校が第一学校群となりました。偶然、初年度が私達の高校受験にあたり、当然のことながら私達は抵抗する術もなく、勝手に決められた法則により2校に振り分けられ、泣く泣く南校に通った者あれば、ラッキーと四高に通う者あれば、明暗を分けたのでした。私の記憶によれば当時賛否両論あり、千葉県では数年で姿を消した学校群制度でした。

誰が名付けたのか、今は無きホワイハウスと称する木造校舎を皆様は御存知でしょうか。11クラス中の4クラスがそこに強制入所となりました。これまた誰が決めたのか、私は一年間をこの隔離棟で過ごす事になったのでした。

たった4クラスのホワイハウスそれも老朽化した木造2階建て、廊下はきしみ、2階の音は良く響き、雨の日には傘を差して先生方がやってくる異様な光景。横を流れる十四川は、春は桜が美しいのだから、花が散れば蚊地獄の始まり、授業中にフマキラーを先生が撒く姿、等々懐かしく思い出されます。

数学のM先生は「お前たちは学校群やからアホや」と口癖のように言い放つのです。私は負けず嫌いなので、「絶対に学校群の意地を見せたい」と思っていました。

新年を迎えて……

日沖 義秀

(四高五十二年度卒)



新年が明けた4日、野球部初練習の日。今の中学校に赴任して以来、その年の部活の始動は近くの神社へ階段トシを兼ね、参拝に向くことだったが、本殿へ通じる細長い階段の下に立つと、高校の冬練習を思い出す。「とりあえず5本、一気に駆け上げられ。」の監督の声。：諸々小1時間ほどのメニューをこなした後学校へ戻った練習だった。今、当時の監督と似たような事をしている自分の姿を客観的に眺め、妙な満足感に浸る私。

吐きながら一気に階段を駆け上がったくる生徒達。上で待つ私の耳にハアハアという荒い息づかいが迫ってくる。「とりあえず5本」の最後「ラスト1本！」の指示を出す。俄然元

せたる。」とその時に誓いました。オリンピックの開催される年には、同級生の勤める四日市都ホテルにて学年同窓会を継続開催しています。必ずM先生は、金一封を携えて顔を出して下さるのです。他のお世話になった先生方も昔と変わらぬ口調で語って下さいませ。

私の小さな意志は、まだ継続中ですが、きっとM先生はアホ呼ばわりした事をすっかり忘れておられると思います。次回同窓会では、そつと耳打ちしてみようつもりです。

★先生にアホと言われたけど、やる時にはきちんとやりますよー!!



らそう感じ、「人付き合ひのトレーニング」の方法を模索してきた。知識獲得のトレーニングは、学校・学習塾でたっぷり行われ、受験に強い子は増えた。しかし、逆境や困難が我が身に降りかかっても受けとめられず、周囲の助けを待つ子が増えたように思う。そんな中、せめて部活動で、野球を通して、人づきあいのトレーニングができないものか！と考えるようになった。

野球部員への口癖は、「心を動かせ！」今年、自身への戒めの言葉にしようと思う。

(蛇足) 初練習後の訓辞にこんな言葉添えた。「真剣だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いつけなさい。」

私自身、この仕事に就いた頃の「初心」に返り、真っ直ぐな気持ちで生徒達にぶつかりたいと思う。そして、なりふり構わず、心の信じるままに突き進んでいこうと思う。

同窓生交歓



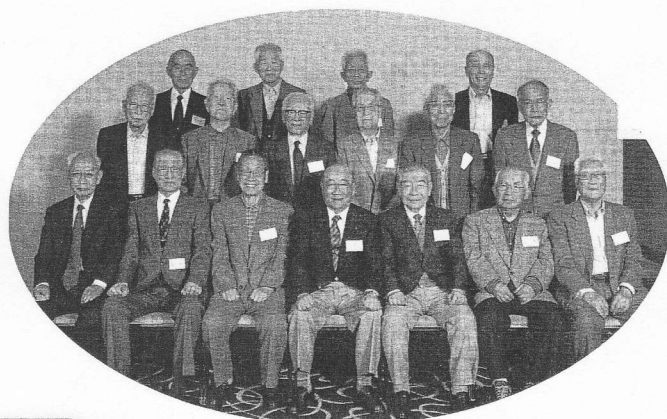
富中38会 H21.8.22 (寿美家)



通信制課程親睦旅行 H21.6.7 (ピアシティ南知多)



北海道 富中四高会 H21.6.13



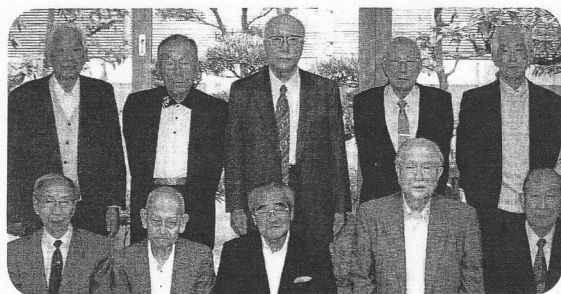
富中第41回会 H21.4.11 (四日市都ホテル)



四高39年度卒 H22.1.23 (四日市都ホテル)



在京富中会 富中40回卒 H20.5.29 (KKR ホテル東京)



富中第40回卒 H21.11.12 (寿美家)



四高45年度卒 H21.8.15 (ロワジールホテル四日市)

学園だより



十月七日 創立百十周年記念行事

ガラ・コンサート無事終わる

予定されていた10月8日に非常に強い台風が直撃するというニュースが流れ、一時は中止まで検討されましたが、リハーサルのため出演者全員が集まる前日に本番が可能かどうか折衝し、急遽10月7日の17時30分より演奏会が開催されることとなりました。特に指揮者、オーケストラ、ソリストの皆様方には十分なりハハサルもないままの演奏会でよくぞ

解していただいたと思います。プログラム終了前には台風の速度が早まったため暴風警報が発令されるなど最後まで心配の絶えないコンサートでしたが、無事終了することができました。

本校卒業生で音楽界で活躍中の演奏家たちのヴァイオリン独奏やピアノソロ、声楽など多彩なプログラムと熱演に四日市文化会館大ホールは

感動の空気で満たされました。

最後の曲目は在校生(1年芸術音楽選択者)175名の合唱も参加してベートーヴェン作曲の「合唱幻想曲」が演奏されました。この曲は年末などによく演奏される「交響曲第9番」の原型ともなった曲で、オーケストラとピアノ独奏と6名の独唱及び合唱団で構成される壮大な曲でした。ソリストやセントラル愛知交響楽団の白熱した演奏と共に在校生の大合唱が輝いて、華やかな締めくくりとなりました。

会場に駆けつけた同窓会の会員の皆様や四日市高校の在校生や保護者らが一体となったすばらしい記念行事となりました。



演奏曲目

ワグナー…楽劇
「ニルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
モーツァルト…
2台のピアノのための協奏曲
プッチーニ…歌劇
「トゥーランドット」より
誰も寝てはならぬ
タイス…瞑想曲
ラヴェル…ボレロ
ベートーヴェン…
合唱幻想曲
他

十二月五日 創立百十周年

記念式典、講演会

12月5日に四日市高校の体育館において創立110周年記念式典と記念講演会が行われました。在校生や在職職員、同窓会関係者、県議会議員をはじめとする来賓など合わせて約千三百名の参加の中で、生徒の司会で行われました。記念式典では、式辞、祝辞、挨拶などの中で本校の歴史が語られ、伝統に根ざした堂々とした式典となりました。また、110年の歴史をまとめた記念誌「四高110年の歩み」輝く青春、広がる未来」の発刊が報告されました。

記念講演会では材料科学分野で世界の第一人者といわれる東京工業大学教授の細野秀雄先生が「研究の駆動力 憧れ、野心、希望」という演題で話をされ、大変高度な研究実践や自身の経験談など、世界のトップレベルの情熱と気宇の大きさを実感させるすばらしい内容に、参加者は熱心に聞き入っていました。



出演

金森圭司 (ヴァイオリン)
佐藤恵子 (ピアノ)
吉野内利恵 (ソプラノ)
高取紀衣 (ピアノ)
加藤利幸 (テノール)
古谷誠一 指揮 セントラル愛知交響楽団
合唱 三重県立四日市高等学校
校 第1学年芸術音楽選択生
及び音楽部

演劇部 7年ぶり中部日本大会出場

「文部科学大臣賞」と「創作脚本賞」のダブル受賞 全国大会出場決定!!

2009年12月24日から27日まで、名古屋市青少年文化センター・アートピアホールにおいて、第62回中部日本高等学校演劇大会が行われました。この大会は高校生のみずみずしい想像力を結集し、部活動としての高校演劇を進展させ、生徒の豊かな人間性を育成することを目的として毎年行われている大会で、四日市高校演劇部も日頃の練習の成果を発揮すべく7年ぶりの出場に意気込んでおりました。現在演劇部は3年生が引退したため2年生が3名、1年生が5名の人数不足に悩んでいた状況から、少数精鋭の活発な部活動に進化しており、北勢の大会や三重県大会も順当に勝ち上がり、この日を迎えました。現在の演劇部のモットーは創部以来、上演作品は常に生徒の創作を心がけ、自分たちが今表現したいことを大切にしているという事です。ここ4年間は軽いタッチの現代会話劇に取り組んでいて、ささやかにデフォルメされた登場人物の状況を軽快なテンポで自然に見せるために台本や「間」を研究しているようです。今回の演目である「Father's Day」も、ドラマティックなばかりが人間でなく、くだらないことやばかばかしいことをまじめにやっていたり、大げさに表に出されない感情を感じあひながら「普通」に暮らしていくことが、現代人のある種の「愛らしさ」であると考え、台本が作られていきました。

大会当日は有力校がひしめく中で、特に緊張もなくプレッシャーも感じないままに、普段着の四日市高校の演劇ができました。少人数のチームワークの良さを遺憾なく発揮でき、満足感でいっぱいでしたが、審査結果には大きな期待はありませんでした。さすがに有力校といわれる学校の演技力や照明や舞台道具の立派さに圧倒されたほどでした。しかし、審査員から四日市高校が「文部科学大臣賞」と「創作脚本賞」をダブルで受賞と聞き、顧問の先生も、何より部員一同は驚きと感激で大きな歓声が上がりました。7年ぶりの出場であった中部大会を制覇し、夏の全国大会に出場が決まり、部員一同を引き締めて大会に臨みたいと考えています。

会館だより

◎副会長伊藤勲作さん(四高35年度卒)が平成21年秋の叙勲を受章されました。

◎同窓会ホームページが制作されました。

www.psn.jp/~shiko
または「四日市高校同窓会」で検索の上閲覧下さい。

(係:市岡)

編集後記

110周年記念号は、お楽しみいただけましたでしょうか。写真の中に、懐かしい顔を見つけていただいたことを期待いたします。

記念事業の一環として、同窓会のホームページがお目見えしました。

遠くから母校を想って下さる方には朗報です。「お気に入り」に入れたいただけるようなページになるよう、皆様からの情報提供をお願いします。

(小林 典子)